

Y14a 行方不明だった1887年の内務省回収分の日食観測記録の発見

福島薫（川崎天文同好会）

1887年8月19日に起こった我が国での皆既日食に際して、アメリカ日食観測日本遠征隊が来日し、隊長D.P. トッド教授と明治政府との協力により、一般市民による日食観測も実施された。参加者より提出された観測記録は文部省、内務省により回収され、文部省回収分は現在国立天文台三鷹図書室に保存されているが、内務省回収分は、長い間行方不明であった。

2019年、アメリカ・エール大学図書館に所蔵されている「D. P. トッド文書」を調査し、1887年のトッド教授日本遠征に関する膨大な未公開資料データを調べたところ、その中に内務省回収分の一般市民による日食観測記録が含まれていることを発見した。その他別ルートからの回収分数点も含め、10県より合計83点のコロナスケッチ、105点の皆既時間観測記録が見つかった。中でも、十代前半の少年による観測記録が2点確認できたことは特筆すべきである。これで文部省、内務省回収分が揃ったこととなる。

本発表では入手した資料の分析から明らかになった、日本で初の「一般市民参加型天文イベント」の全体像を紹介する。